

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	氷地区風穴群周辺環境整備事業
事業主体 (連絡先)	信州小諸氷風穴を考える会 (tel:0267-63-8080)
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業 (6)オ その他地域の特色、個性を生かした産業振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,335,885 円 (うち支援金 : 817,000 円)

事業内容

国内最大規模を誇った氷地区風穴群跡をより広く周知させるために、周辺環境整備(駐車場整備や看板の設置)や、講演会やまち歩きワークショップを開催した。また、周辺の清掃活動を地域住民や協力団体などを中心に夏・秋の計2回実施し、ボランティア活動を通じて地域に残された歴史的資産を知ることで、風穴群の価値の向上に努めた。



【植物講演会の開催】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

世帯数が30を満たない小さな集落であるが、平成29年9月に開催された「第4回 全国風穴サミット in 信州小諸」をはじめ、小諸市のケーブルテレビやフリーペーパー等に氷風穴の魅力や同会の活動が紹介されることで、小諸市民をはじめ小諸市行政からも注目が集まる地区となった。

また、風穴を生み出すために必要な地理的条件が、気象や植生にも特殊な環境を形成していることが判明し、大学などの研究機関や風穴や希少植物の愛好家からも注目を集める場所となった。

【目標・ねらい】

- ① 氷区風穴群を広く周知
- ② 風穴群を復旧し歴史を学ぶ場所とする
- ③ 風穴群のブランド化を図ることで地元住民主体の歴史的資産の保全を目指す

※自己評価【 B 】

【理由】 周辺を見学してもらえる基本的な環境づくりを実施できたほか、関連イベントを通じて全国規模のPRが一定の水準でできたと考える。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

風穴への注目が高まり各方面からの問い合わせ等も増加し、個人所有の風穴に食品を貯蔵し熟成することで、食品(日本酒やそば粉)に付加価値をつける試みが始まっている。今後は、地区の共有財産としている地区所有の風穴の復旧を進めることで、氷地区住民が中心となった商品開発やブランド化を進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある